

2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

第1312回 本日の例会 9月11日(月)

本日の卓話 「北九州市と音楽」
シンガーソングライター 池端 克章氏

例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間 (8月28日 1310回 例会記録)

梶原会長

出席報告 8月28日

仏教の經典には、色々なキャラクターが出てきますが、今回は「共命之鳥(ぐみょうしちよう)」の話を紹介し、その鳥の話は様々なパターンで語られますが、その趣旨から外れないようにして、私がアレンジした話をお伝えします。

その昔、頭が二つある鳥がいました。一つの頭の名前はカルダ、もう一つの方をウバカルダと言いました。その姿はとても美しく、鳴き声はこの世で一番素晴らしいと言われていました。

ある時、カルダは歌を歌いたくなりました。その時ウバカルダは寝てましたが「同じ声なんだしこれでまたみんなが私達の事を褒めてくれるだろう」と思って歌い始めました。その美声は遠くの町まで届き、人々はうっとり聞き惚れてしまいます。

しばらくすると巷で「やっぱりカルダの歌声は世界一だな」と評判になります。それを耳にしたウバカルダは、カルダが自分を出し抜き名声を独り占めにしたと思うようになり、日増しに怒りが大きくなっていきました。

そしてウバカルダは恐ろしいことを思いつきます。「カルダを殺してしまえば私こそこの世で一番の美声の持ち主になれる」と。

そこでウバカルダはカルダが寝ている間に、食事の中に毒を混ぜます。それを食べたカルダは死んでしましますが、体は一つです。ウバカルダも一緒に死んでしまうのでした。

カルダは命尽きる前にウバカルダにこう言ったそうです。「ウバカルダよ。私は、互いに良かれと思い、歌を歌いました。あなたは、そのことに怒りの心を起こしましたね。怒りや憎しみ、愚かさからくる行動には、良いことはありません。なぜなら、怒りは他者を傷付け、自分をも傷付けてしまうからです。」

仏様の慈悲により、極楽浄土に生まれた共命之鳥(カルダとウバカルダ)は「他を滅ぼす道は己を滅ぼす道、他を生かす道こそ己の生かされる道」と歌いながら飛んでいるそうです。

この話では三つのポイントがあります。

一つ目は、怒りや憎しみは心の目を曇らせ人格を破壊し、人生を狂わせるほど恐ろしいものであるということです。私たちは怒りや憎しみから解放されることはありません。なればこそ、そんな私であるという自覚を持ち、冷静になる事を忘れてはならないと言う事です。

二つ目は、私たちは関わり合って存在していると言う事です。最近は何かと個人個人と言いますが、現実には他の無い私は存在し得ないと言う事です。

これを仏教では「自他一如(じたいちによ)」と言います。自分の言動や行動は、状況や環境によっては、自分が思ってるより強く他に影響しているのかもしれない。

三つ目は、誤解やすれ違いが取り返しの付かない事態に発展することがあると言う事です。改めて相互理解や思いやりの大切さが分かりますね。

私たちもこの鳥のようにならないように「手に手、輪に輪」を心がけましょう。

在籍会員数	43名
義務出席者	40名
ゲスト	2名
ビジター	0名
本日出席数	35名
本日出席率	87.50%
前々回修正出席率	95.34%

次回(9月25日)の例会は、

- ◆ 臨時総会
- ◆ 家庭集会報告

9月のお誕生日

- 2日 細川 忠広会員
2日 田村 雅史会員
20日 溝尻 武則会員

今月の主な予定

- 2日(土) 危機管理セミナー
3日(土) RLI 研修
4日(月) 定例理事会
6日(水) イレブンの会
9日(土) R 財団補助金セミナー
14日(木) 二水会
20日(水) 国際奉仕委員長会議
30日(土) IA 校内例会

幹事報告

森本幹事

・秋田地区・福岡県内災害義援金募金にご協力ありがとうございました。例会2週で40,000円集まりましたので、予備費から43,000円と合わせて83,000円を地区の方に送金致しましたのでご報告いたします。

・定例理事会報告

- ①児童養護施設 暁の鐘学園の植樹に対するR財団補助金申請が承認されました。補助金65万、今期予算20万、30周年積立金より15万、計100万円で植樹を行います。
- ②4地区合同公共イメージ向上事業に関して小倉中央RCよりブースを出して、事業に協力いたします。内容につきましては、これから計画していきますのでご協力の程、よろしく申し上げます。

ニコニコ献金報告

累計 148,500円

梶原・森本・野村会員—高木様、本日の卓話、楽しみにしております。よろしく申し上げます。

狩野会員—高木さん、卓話よろしく申し上げます。防災のプロです。皆さん、お楽しみに～

野村会員—16時から打ち合わせの予定でしたがキャンセルとなったので少し早く息子を保育園に迎えに行き、虫取りに行きたいと思います。嬉しいのでニコニコします！

鍋島会員—日曜日午後9:00～のTBSドラマヴィバンが面白いのでニコニコします。監督は、福沢諭吉の孫、最近は格差社会、地政学士のリスクがテーマになっています。ロータリアンにぴったりかも。

合計 7,000円



祝お誕生日祝い—溝尻武則会員

田村雅史会員（去年の誕生日はコロナになってました。あれからもう1年なんて、月日が流れるのが早いです。）

卓話の時間

「ゼロから始めるリスク分析」～地域に必要な備え方～
 (株)かんがえる防災 代表取締役社長 高木敏行氏



2023年は関東大震災から100年という節目の年です。近年自然災害が激甚化し頻発しています。福岡県では100年に1度と言われるような豪雨がここ10年で6回発生しています。皆さんの会社では、激甚災害が発災しても事業継続はできますか？また、皆様の家庭は災害への備えはできていますか？

私は11年9ヶ月消防士として災害現場での活動や火災予防の業務を行っていました。自然災害や火災現場で体感したことは、自然災害や火災に対する備え方を住民の大半が知らない事に気付きました。また「知識」がなく亡くなってしまった方が多くいます。

否定的な意味ではなく、行政やメディアは有益な情報を広く発信できますが、個々人や各企業の実情に応じた必要な情報を発信することは「実施したくてもできない」領域です。

当社は「知識から備蓄する」を大切な言葉として活用し、テラーメイド・オーダーメイドの備え方を提供しています。

今回の卓話では、災害現場の経験から日本の災害対策の課題や火災原因について皆様に聞いて頂き、皆様の企業の事業継続（BCP）と皆様の生活の継続（LCP）を考えるきっかけになればと思っています。

災害でお亡くなりになられた方には、災害の被害により直接死亡する「直接死」と間接的な因果関係により死亡する「災害関連死」に分けられます。「災害関連死」は知識を持って予め備えていると防げる「死」です。災害対策やBCP対策に100点の対策を求めることは困難ですが、「何も知らない」・「何も実施していない」という0点を防ぐことはできます。まずは、この0点作らない必要性に気付いて頂き、皆様の企業のBCP対策・皆様の家庭の備えのきっかけになって頂けると幸甚でございます。